

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ホープフルSはタイムフライヤーが優勝

2017年12月28日(木)に行われたホープフルS(G I)ではタイムフライヤー(牡・出走時2歳/栗東・松田国英厩舎)が優勝、このレースがG Iに昇格した初年度の勝ち馬としてその名を刻みました。また同馬の鞍上クリスチャン・デムーロ騎手は今回の短期免許期間内で重賞4勝目をマーク。これは兄ミルコ・デムーロ騎手らと並ぶ最多記録となります。

●ヤングジョッキーズシリーズは船橋の白井騎手が優勝

中央・地方の若手騎手が腕を競ったヤングジョッキーズシリーズのファイナルラウンドが、2017年12月27日(水)の大井競馬場(2戦)と翌28日(木)の中山競馬場(2戦)で実施され、4レースで計52ポイントを獲得した白井健太郎騎手(船橋)が初代チャンピオンに輝きました。JRA所属のジョッキーでは、岩崎翼騎手(栗東・フリー)が51ポイントで第2位、森裕太朗騎手(栗東・鈴木孝志厩舎)が48ポイントで第3位となっています。

●鮫島克駿騎手がJRA通算100勝を達成

2017年12月28日(木)の5回阪神9日・第4レースではハギノフロンティアが1着となり、同馬に騎乗した鮫島克駿騎手(栗東・浅見秀一厩舎)は、現役89人目となるJRA通算100勝(1692戦目)を達成しました。

●ルメール騎手と池江泰寿調教師がリーディングに輝く

2017年度のJRAリーディングジョッキーは199勝をあげたクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が受賞、外国人騎手としては初のリーディングジョッキーとなりました。ルメール騎手は最多賞金獲得騎手のタイトルも受賞し、最高勝率騎手はミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)。またトレーナーでは63勝をあげた池江泰寿調教師(栗東)が2012年以来3回目となる全国リーディングに輝いています。

●イスラボニータの競走馬登録抹消

2014年皐月賞(G I)などの勝ち馬イスラボニータ(牡・抹消時6歳/美浦・栗田博憲厩舎)は、2017年12月26日(火)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は25戦8勝で、今後は北海道安平町の社台スタリオンステーションにて種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●コパノリッキーが東京大賞典で単独首位のG I・Jpn I 11勝目

東京大賞典(G I、12月29日、大井、2000万円)は、先手を取った3番人気のコパノリッキー(田辺裕信騎手、牡・出走時7歳、父ゴールドアリュール)が後続を3馬身引き離し、国内G I・Jpn I単独最多勝記録となる11勝目をあげて引退の花道を飾りました。2着争いは、2番人気のサウンドトゥルーが1番人気のケイティブレイブを捉え、前年の覇者アポロケンタッキーが4着、ロンドンタウンが5着、ミツバが6着、インカンテーションが7着と、7頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

●兵庫ゴールドT(園田)は58万円のグレイスフルリープが完勝

兵庫ゴールドT(Jpn III、12月27日、園田、1400万円)は、2番手から3コーナーで先頭に立った4番人気のグレイスフルリープ(武豊騎手、牡・出走時7歳、父ゴールドアリュール)が、2番人気のラブバレット(岩手)に1馬身半差を付けて優勝。逃げた1番人気のサイタスリーレッドは3着、3番人気のレーザーバレットは4着、引退が決まったドリームバレンチノは6着に敗れました。

●地方競馬リーディングは下原理騎手、角田輝也調教師

2017年の地方競馬リーディングは、ジョッキーが273勝で下原理騎手(兵庫)、トレーナーは217勝の角田輝也調教師(愛知)でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ラブレアS~ユニークベラが人気に応える

米カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で12月26日に行われたG1ラブレアS(ダート7フ、3歳牝馬)は、M.スミス騎手が手綱を取り、単勝2.3倍の1番人気に推されたユニークベラ(父タピット)がG1・2勝馬パラダイスウッズを直線で交わして優勝。G1初制覇を果たしました。J.ホランドルファー調教師が管理するユニークベラは、2017年1月から3月にかけて重賞を3連勝してクラシックの最有力候補に躍り出ましたが、脚部不安で戦線から離脱。その後、復帰初戦となった10月のG3を制して向かった前走11月のG1ブリーダーズCフィリー&メアスプリントは逃げて7着に敗れていました。

●G1アメリカンオークス~ダディズリルダーリンがG1初制覇

12月30日にサンタアニタパーク競馬場で行われたG1アメリカンオークス(芝10フ、3歳牝馬)は、M.スミス騎手を背に3番手でレースを進めたダディズリルダーリン(父スキヤットダディ、K.マクベーク厩舎)が直線で抜け出して優勝。これまでG1ではケンタッキーオークスを含む4度の2着が最高着順でしたが、2017年のアメリカ最後のG1で、初のG1制覇を果たしました。